



基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業活動で排出する廃棄物は適切に分別し、専門業者にて処理を行う事により対応している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所はLED照明を導入し、現場では太陽光をエネルギーとした電光掲示板を使用する等、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・車両ごとの燃料使用量把握を行い、削減に向けた意識啓発を行っている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・低燃費車の導入や、アイドリングストップを心がけることで温室効果ガスの削減に取り組んでいる。 ・車両ごとの燃料使用量及び温室効果ガス排出量把握を行い、削減に向けた意識啓発を行っている。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動が環境に及ぼす影響を把握し、施工による土壌・水質汚染の防止、廃材の適切な分別・廃棄を行っている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・資材在庫を適切に管理し、効率的な調達を徹底している。 ・廃棄物の適切な分別を徹底し、リサイクルが可能なものはリサイクル業者に持ち込んでいる。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・法面緑化工事により水資源の保全に配慮した工事を行っている。 ・事務所や現場において、節水コマの取付や定期的な水道設備の点検等、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・リサイクル資材を積極的に活用する他、事務所では裏紙の利用を推奨し、文具等の社内備品はリサイクル製品を優先的に購入している。									9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・法面緑化工事を通じて「緑の創出」を行うと共に「災害に強いインフラ整備」を両立させた事業を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所はLED照明を導入し、現場では太陽光をエネルギーとした電光掲示板を使用する等、エネルギー使用効率の改善に取り組んでいる。 ・営業車両の一部はハイブリッド車を導入している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・法面保護協会が主催する森林植樹活動・下草刈り等のボランティアへの参加を行っている。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・法面保護協会が主催する森林植樹活動・下草刈り等のボランティアへの参加を行っている。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

